

個人市民税・県民税納税通知書の発送と 市県民税所得課税証明書の発行開始日のお知らせ

▷問い合わせ先＝税務課市民税係(☎内線154)

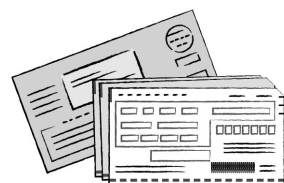
■納税通知書の発送日について

- ▷給与特別徴収(給与からの天引き)の人
・5月10日(火)に勤務先へ発送します。
・勤務先から「令和4年度給与所得に係る市民税・県民税特別徴収税額の決定・変更通知書(納税義務者用)」がお手元に届きます。
- ▷普通徴収(納付書または口座振替での納付)および年金特別徴収(年金からの天引き)の人

6月7日(火)に納税義務者あてに「令和4年度市民税・県民税納税通知書」を発送します。

■証明書の発行開始日について

令和4年度(令和3年中の所得)市・県民税所得課税証明書の発行開始は、6月7日(火)からとなります。



防災行政無線などを用いた情報伝達試験を行います

▷問い合わせ先＝防災管理室(☎内線251)

Jアラート(全国瞬時警報システム)による緊急情報を確実に伝えるため、全国一斉の試験が行われます。

- ▷日時＝5月18日(水)午前11時ごろ
- ▷内容＝市内に設置している防災行政無線の屋外拡声子局および希望世帯に設置した戸別受信機から放送を行います。
なお、実際にJアラートの情報を受信した場合、緊急速報メールが配信されますが、今回の訓練では配信されません。
※Jアラート(全国瞬時警報システム)とは、地

震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市町村へ、人工衛星などを利用して瞬時に情報伝達するシステムです。



放送内容

(上りチャイム)
これはJアラートのテストです(3回繰り返し)
(下りチャイム)

いわて男女共同参画フェスティバル2022参加者募集

▷問い合わせ先＝男女共同参画室(☎内線278)

- ▷開催日時＝6月11日(土)午前11時30分～午後4時
- ▷開催方法＝①会場参加、②オンライン参加(Zoom)、③収録した動画をYouTubeにて視聴のいずれか
- ▷会場＝いわて県民情報交流センター(アイーナ)7階(小田島組☆ほ～る)ほか
- ▷内容＝表彰式、基調講演、分科会
- ▷講師＝青野慶久さん(サイボウズ株式会社 代表取締役社長)
- ▷分科会
避難所運営ゲームHUGを体験しよう！
(9) 広報大船渡 令和4年5月9日号(No. 1222)



▷問い合わせ＝市役所☎0192⑦3111

おおふなぼーとから 催しのご案内

▷申し込み・問い合わせ先
〒022-0002 大船渡町茶屋前7-6
おおふなぼーと(大船渡市防災観光交流センター)(☎⑩6001)

ししゅう高田松原タペストリー展 in 大船渡

- ▷期間＝5月18日(水)～5月31日(火)
- ▷時間＝午前9時～午後5時30分(初日は正午から、最終日は正午まで)
- ▷会場＝2階展示室
- ▷内容＝市民や協力者が東日本大震災前の高田松原の風景などをモチーフに制作した刺繍作品741枚をタペストリーにして展示します。

■関連イベント

- 気仙の詩人たち「詩の朗読会」
- ▷期日＝①5月21日(土)、②5月28日(土)
- ▷時間＝午前11時～11時30分

- ▷会場＝展示室
- ▷内容＝高田松原の詩の朗読をします。
- 3・11を振り返る「紙芝居おはなし会」
- ▷日時＝5月29日(日)午前11時～11時40分
- ▷会場＝2階多目的室
- ▷内容＝「高田まつばら誕生物語」などの紙芝居を読み聞かせます(参加者全員にお菓子をプレゼント)。
- ▷対象＝どなたでも参加できます。
- ▷企画運営＝NPO法人おはなしころりん、みんなのたからもの大船渡展示実行委員会

にこにこ顔パンをつくろう！親子料理教室

- ▷日時＝5月22日(日)午前10時～11時30分
- ▷会場＝2階 和室および給湯スペース
- ▷内容＝親子1組で2個の顔パンを作ります。おはなし会もあります。
- ▷講師＝長谷川千昌さん(おうちパンマスター)
- ▷対象＝子どもおよび保護者
- ▷定員＝親子4組(定員になり次第締め切り)

- ▷申込方法＝電話または直接申し込みください。
- ▷申込締切日＝5月20日(金)
- ▷受講料＝500円(材料代)
- ▷持ち物＝マスク、エプロン、三角巾、手拭きタオル、飲み物、持ち帰り用生地を入れる保冷バック
- ▷企画運営＝NPO法人おはなしころりん



タイガーが伝えたい！アメリカ人の視点

日本の食事作法について

皆さんは、普段の食事作法についてどれだけ考えたことがありますか？実は、日本に来る外国人観光客の多くは、日本の食卓での礼儀作法を強く意識している人が多いです。

どんな文化でも、食事をする際の手順には歴史があり、それを守ること、料理を一番美味しく食べることができます。また、それがその料理を提供してくれた人たちや地域に対しての感謝を伝える表現方法であるとも言えるでしょう。そして、多くの外国人はそういった作法の大切さを理解し、尊重しています。

しかし、その作法を尊重するあまり、
①自分の箸使いの不慣れさが恥ずかしい
②並べられたさまざまなおかずを食べるのに順番があると思う不安



タイガーへの質問募集！
Ofu_cir@city.ofunato.iwate.jp
または
観光交流推進室(☎内線115)

③食べるべき食材が装飾が分からない(刺身のツマや大葉など)

そんな中、食べにくそうにしていると言われる「フォーク要りますか？」の一言は、「悪いことをしている」と捉えてしまうことがあります。

もしかすると、このように考えている外国人観光客、市内在住の外国人がいるかもしれません。もしその人たちと一緒に食事する機会があれば、そっと見守り、優しく対応し、フォークは気付かない程度にそっと添えて頂ければ助かります。

